



あづみ  
**安積 むつみ**



こうめいとうぎいんだん  
**公明党議員団**

### 乳がん自己検診グローブの配布を

**問** 乳がんは自分で発見できる唯一の女性特有のがんであり、日頃の自己検診が大事である。乳房の自己検診グローブは特殊な素材で、素手よりも感度が高く、異常を見つけやすい。乳がんから女性の命を守り、がん検診の受診率や健康意識が高まることを期待し、検診通知とともに郵送したり希望者に保健センターで配布する等、市民に普及すべきと考えるがどうか。

### まずは、自己触診ツールの周知に努める

**答** 乳がんは、生涯で女性の11人に1人が発症する、女性に最も多いがんであるが、早期発見、早期治療により、90%以上が完治するため、乳がん検診の定期的な受診と日頃のセルフチェックが重要であると考えている。津市では、セルフチェックに興味を持つきっかけとして、昨年10月に市内ショッピング施設で自己検診グローブによる乳がんモデル触診体験を行うなど、啓発に努めている。まずは、自己検診グローブなどのツールがあることを、乳幼児健康診査などで、若い世代のお母さんたちに啓発していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 幼児健康診査再開について
- 感染防止対策について
- 新型コロナウイルス感染症流行下の妊産婦への支援について
- 出産環境も変化する中、自粛期間中の産後ケアの状況と、自粛で利用できなかった場合、産後4カ月経過後も利用可能か
- 今後また自粛を強いられることを想定し、オンラインを活用した保険指導の考えは など



▲乳がんを自己検診（セルフチェック）するためのグローブ



すぎ たに いく お  
**杉 谷 育 生**



しん わ かい  
**津 和 会**

### 消防団の一般機能別団員の積極的な確保を

**問** 一般機能別団員は、所管区域における火災での消火活動や救助活動を主に行っている。基本団員と比べて、年間の訓練回数も少なく、地域に精通した人が一般機能別団員として入団すれば、自警団のような存在として、災害時にスムーズな救助活動ができる。入団時の年齢制限を見直すなど、一般機能別団員を積極的に確保すべきと考えるがどうか。

### 制度の周知を図りつつ確保に努める

**答** 消防団活動は、常に危険が伴うもので、安全で効果的な活動を行うためには、一定の体力や現場判断力を必要とすることから、一般機能別団員としての入団条件に、基本団員や消防吏員としての経験年数や入団時の年齢制限が設けられている。年齢制限については、消防団長とも協議を行ったが、体力等を鑑みると、「入団時に65歳まで」というのが適当であり、現在のところ見直しの予定はない。消防団の幹部会議で、退団予定の基本団員に対し、一般機能別団員として残ってもらえるように勧誘を行っており、今後も、消防団員の研修や訓練の場において、制度の周知を図っていく。

### ●その他の質疑・質問●

- 消防団について
- 消防団組織および方面団別の状況はどのようになっているのか
- 機能別団員の方面団および分団別の状況について
- 一般機能別団員が減少した原因は
- 報酬額の見直しについて



▲地域で活躍する消防団員